

ゆるり

昭和堂・ゆるりで
出版された本のご紹介

VOL.28

特集

「時を詠む」

折々に句歌を詠み来て本に編む
一期一会の自分史となり

久田 浩一郎

- 山形公規／歌集「大里生まれ、大里育ち」 ■原マチエ／親子歌集「ひとひひとひを」
 - 井関淳子／歌集「TOMORROW」 ■久田浩一郎／俳句・短歌集「あの頃…」第2章
 - 太田紫陽／句集「とこしなへ」 ■山口美由喜／句集「生きる」
 - 今村冬三／詩集「のしり日和」 ■久保進／フォト歳時記Ⅲ「五島の道・五島の四季」
 - 大浦澄泉遺墨展開催される □ギャラリー「好風」展示会「あんない
- 記念誌紹介 Vol.5 ■瓊林会「被爆・終戦70年の回顧」



自費出版サロン ゆるり

株式会社 昭和堂

「ゆるり」は長崎県内の主なコミュニティ施設に無料で配布しています。

大里生まれ、大里育ち

歌う果物屋

山形 やまがた

公規 きみのり

知らぬ間に廃業していた同業者

悲しくもあり羨ましくも

またしても介護認定受ける日に

呆けは何処やらしやんとする母

ベンツからスーツ姿の級友下りる

商品を渡すエプロンの僕

もう帰る帰る帰るとごねる母

それを振り切り施設の部屋出る

売れ残るスモモの紅が濃さを増す

傷みがあれば店主の口に

荷を渡し車に戻るびしょ濡れで

バックミラーに庭の紫陽花

都市高速ボールのライブ聴きながら

ビルの谷間を駆け抜けてゆく

配達の玄関先で二呼吸

笑顔を作りチャイムを鳴らす

ライブ前いろんな歌で喉鍛え

張りが出てきてやる気も出てくる

私もと待ち受け画面孫の顔

「可愛い」が飛び交う同窓会場

嵐去り落ち葉を踏んでバイクが走る

郵便受けに真つさらな朝刊

散らばったゴミを掃くのも様になる

ジーパン姿の踊りの師匠

夢有ればいつ逝こうとも悔いはない

夢の途中もまた楽しくて

配達を終えたと今日は店しまい

薄暗い路地カレーの匂い

貸し物件の張り紙目立つ商店街

手押し車がゆつくり進む

シヨートステイ見学終えて帰りしな

母より子らが涙浮かべる

息切らせミカンを買いに来た子供

握りしめてたお金が温ったか

思いつくと五七五七七と
数えながら
言葉を探しています

一九五四年福岡県門司市柳町出生。
大里（だいら）生まれの大里育ち。
北九州のアマチュア・ミュージシャンで
若い頃より、泉谷しげる、なぎら健彦、
かまやつひろし等の前座を務めていた。
父親が経営する果物屋を手伝いながら
北九州市内でライブ活動を本格的に
始める。作詞・作曲・ギター演奏・歌唱
によって地域興しの先駆けとなり、テレ
ビや新聞で「歌う果物屋」として紹介
され今日に至る。

四十年ぶりに会った同窓の寺井君より
短歌を勧められ、その創作の虜となって
しまった。はじめ短歌は僕には敷居が高
かったが、日常の言葉でも良いと言われ
て張り切って多作した。人生の証として
一冊くらいは本を出版するという夢を
持っていたが短歌に出会えたことで現実
のものとなった。読んで共感してもらえ
れば幸いですと思う。



●判型：A5判
●頁数：144頁
●定価：1,200円(税別)

ひとひひとひを

原 マチ子

九十二歳の母に贈らむ親子歌集

母の自分史われらの祈りを

福岡に嫁ぎし孫に子が誕生

曾孫六人婆長生きせむ

春がゆき夏がきたりてわが庭の

柿の葉しげりひよけとなりぬ

骨折し手術をうけしわが足に

二本のボルトつきささりをり

六人の子らの見舞ひに励まされ

足の痛みの回復は間近

退院を祝ふ子らよ孫曾孫

今この時を神仏に感謝す

遠き日に母と眺めし庭の松

愛でるし兄は戦地にて逝く

庭に立ち久留米つつじを眺めおれば

懐かし夫の声きこゑたり

同室の皆さん方に見守られ

ひとひひとひのおだやかに過ぐ

母のケガ子供の絆つくる為

短き命差し出し給う

大丈夫心配せんでかあさんに

会って帰れば元気がでると

ばあちゃん長生きしてねいつまでも

かあさんがいてきょうだいがいる

よかたいが口癖の母九十二歳

苦労もあつたる唯尊敬す

出張で見つけた駅のつばめの巣

親とひなどりにぎやかさうれし

母強し入院しても二日目に

短歌の話たのもしきかな

これほどの怪我ですみしは亡き父が

母のからだをうけとめくれしか

骨折も二度の手術も人生と

受け入れし母リハビリに向かふ

長崎県諫早市。短歌と出会って二年後の平成二十五年 歌集「ゆびおりかぞへて」の完成は夢の様な喜びでした。

しかし、その二ヶ月後、左足を骨折。人生初めての手術と入院。九十一歳の骨はとても脆い上に、リハビリを続けたいと寝たきりになる不安もありました。お世話になりました三つの病院では最新の治療をしていただき、多くの方々のお力で少しずつ生きたいという思いが強くなりました。子どもたち夫婦、孫、曾孫の存在が私の大きな支えとなりました。

この二冊の歌集は私の自分史であり、家族の絆を詠んだ短歌です。ずぶの素人だった私と子どもたち。短歌との出会いを通して、それぞれの人生がより豊かなものになったと思います。孫も短歌を作り始めたそうです。ひとひひとひをおだやかに生きてゆきたいと思うこのごろです。さて、三冊目はどんな歌集になるでしょう。

親子歌集
ひとひひとひを



●判型：A5判
●頁数：60頁
●定価：非売品

歌集
ゆびおりかぞへて



●判型：A5判
●頁数：76頁
●定価：非売品

歌集

特集 「時を詠む」

「TOMORROW」

井関 淳子

浦々の港に赤き色添えて

やぶ椿咲くわれの故郷 (五島・福江島)

竹笛の音色優しく響きたり

花吹雪とめどなきなか自転車
で 駆けゆく乙女の髪にひとひら

ゆかた着てカラコロ歩みし八坂町

ほおずき市の賑わい浮かぶ

秋の夕胡弓の調べ流れ来て

甘くせつなく満月の出づ

冬晴れの朝日に映ゆる寒椿

艶めく緑に燃え立つ紅

新イモを蒸してテーブルへ並ぶれば

少年のごと夫の喜ぶ

みどり児の瞳の中の常盤木に

うっすら積る新雪のあり

頭よりサンマの骨を抜き取りし

孫のこの技にまなこ見張りぬ

花吹雪吹かれ流れてとめどなし

トンネルを抜けるとそこは雪国と
読みしがままの景色現る (新潟)

響え立つスカイツリーの先端は

空のかなたに点として在り (東京)

朝霧の深き霧島新緑の

かすみて今し日の昇りゆく (霧島)

蛇皮線の流るる宴に心酔い

イラブーミミンガーおずおず口にす (沖縄)

なだらかな丘陵に立つ古城には

中世の風吹きわたりゆく (スコットランド)

ヘップバーンもかくやと思う開放感

吾も包まるスペイン広場 (イタリア)

道化師の曲を奏でる道端で

エトランゼとなるモントリオール (カナダ)

来し方の吾を収めし
歌集「TODAY」
いまも愛しき吾の分身

第一歌集「TODAY」は、今“の等身大の自分自身を詠った歌集でした。早いもので、あれから十年余の歳月が経ってしまいました。目まぐるしく変化していく社会情勢の中で、余り進歩していない自分を見出していますが、ともあれ、身めぐりの事など見つめて過ごして来た日々で御座居ました。又、いつの時も、細々とですが、歌と共に歩んで参りました様にも思います。一つの節目として、ありのままの自分をまとめて上梓させて頂きました。「TOMORROW」”明日“へとつなげて参りたいと願っています。

昭和十九年、長崎市生まれ。
五島市在住。日本歌人クラブ会員。

歌集 Today



- 判型：105×152mm
- 頁数：134頁
- 定価：非売品

歌集 Tomorrow



- 判型：105×152mm
- 頁数：150頁
- 定価：非売品

「あの頃……」

第2章

久田 浩一郎

新春 春

ふくよかに海盛り上がる初日の出
 挨拶は短くて良し初電話
 水仙の立姿こそ素直なれ
 母を恋ふ梅一輪のいのちかな
 点滴の父と見ており春の雪
 彼岸会に生者は語り死者は聞き
 志士たちも濡れてゆきけり春の雨
 六十の坂を越えけり花吹雪

夏

五島灘望む教会鯉幟
 万緑に濃淡のありいのちほど
 風鈴に母の寝息のまぎれけり
 読みかけのページをめくる南風
 正直に生きる窮屈蝸牛
 夏の宵信号待ちの孤独かな
 季ときを寄せ句歌集を編む夏の月
 夏帽子被り直して別れけり

秋

児童画の真つ赤な空や原爆忌
 にぎやかに母の精霊船担ぐ
 秋風に母の声聞く空耳か
 生きてこそ秋を惜しみて本を読む

冬

冬銀河七十億の一人なる
 生きざまをさらけだしたる冬木立
 切れ切れに思い出よぎる冬の夜
 除夜の鐘残したものを問うており

短歌

梅雨に入り重たくなりし雨音に
 記憶の戻る長崎大水害

購へる「ウエストサイド物語」のDVD

二十歳の吾に今夜会えるぞ
 いびきかく父の寝顔のあどけなく
 昼間のいさかいわびる秋の夜

折々に句歌を詠み来て
 本に編む

一期一会の自分史となり

一九四七年、長崎県佐世保市生まれ。

二〇〇八年「百句百歌」を編みてより、

新聞雑誌等に掲載された俳句短歌がま

とまり、第二作品集が出版できました。

この間、実母の死と義父との縁など、

人生の別れと出会い、哀しみと豊かさが

身に沁みた歳月でありました。

「あの頃……第二章」は、歩み来し半生

を振り返った時、折々の「あの頃」の心

象風景を俳句短歌に留めておきたいとの

想いからでした。

「第三章」の出版を願いながらこれか

らも創作活動を人生の励みとなしてゆ

きます。

二〇〇六年、長崎新聞文芸賞受賞

(短歌部門)。二〇二年、朝日新聞長

崎県内版年度賞受賞(俳句部門佳作)。

二〇一三年、同右俳句部門優秀賞受

賞。



- 判型：B6判
- 頁数：126頁
- 定価：非売品

とこしなへ

太田 紫陽

秋彼岸考の三倍生きて候

父・清、爆心地付近の病院で病死

ちち

参考書返せぬままに長崎忌
同級生・林君 原爆で逝く

空蟬のみな腹みせて被爆丘

試練多き寿命授かる昭和の日

露天湯に男一匹憲法記念の日

九条に軍靴のひびき文月尽

戦艦武蔵下りし船台いわし雲

この地球のどこかで戦終戦忌
ほし

万緑や島に残りし日本語
慰霊船ふじ丸乗船句

サイパンの朽ちし戦車に瑠璃蜥蜴
慰霊船ふじ丸乗船句

Kよあれが南十字星涼デツキ
少年兵K君を悼む

戦なき世をとこしなへ大旦
あした

春一番媽姐行列を襲ひけり

東日本大震災

春や無惨テレビはみだす大津波

引分けの子泣き相撲や山笑ふ

かたしろ

形代やうるのおくやま八十路坂

浜木綿や行かずじまひの父郷島

炎天を帰り留守電愛想なし

月山の水ほとばしる代田風
しろたがせ

老いの一徹冷房嫌ひ我を通し

年ごとに夫婦似てくる敬老日

秋刀魚焼く唐人屋敷けぶらして

喪中葉書古里いよいよ遠ざかる

大年の長湯へ妻の声かかる

ローマ
短日や妻にはぐるる
コロシウム

本名昭三は、昭和三年生まれによる。十七歳の時、三菱重工長崎造船所実験場（現・長崎研究所）に入社、原爆が投下された八月九日は、同化学薬品庫を整理していました。強烈な閃光を受けるとともにとてもない爆風によりロッカーの下敷になっていました。当時の状況はいままで話していませんでしたが、今回の出版にあたり文章で記録することといたしました。句集「とこしなへ」はひ孫誕生の折りの元旦の句であり、近年被爆者の第二人を亡くしたこともあって「戦争は永久（とこしなへ）になくなってほしいと願いを込めて名付けました。

永年共に歩んだ妻への感謝の気持ちもあってこの本の出版をすすめてまいりましたが、残念ながら存命中にはまにあわず、忌明けの日に仏前へ供えることとなりました。

八十路の第二の人生、ひ孫にも恵まれ安らかな終焉を希っています。



- 判型：A5判
- 頁数：172頁
- 定価：非売品

句集

生きる

山口 美由喜

昭和の日言はず語らず姉いもと (平成二十七年)

今日もまた長病む夫にとろろ汁 (昭和五十八年)

東京へ孫の飛び立つ初御空 (平成十二年)

早苗饗さなぶりの膳にまず置く母遺影 (昭和五十九年)

嫁達が踊りを継ぎて夏祭 (平成十二年)

教え子の華燭ゆたかや春一番 (昭和六十年)

春の旅いつも真中に長姉われ (平成十三年)

田草取る嫁姑のヘア帽子 (昭和六十二年)

不意に来しごとき八十路の初鏡 (平成十九年)

夫の膝とり合ふ孫や冬ぬくし (昭和六十二年)

生きたき日ふと死にたき日枇杷の花 (平成二十年)

命終の一言もなし冬早 (平成三年)
夫 十二月十九日死去

死支度しばし忘れて年用意 (平成二十五年)

黒文字の花の明るき百日記 (平成四年)

初春の米寿にたまふ賢治の詩 (平成二十六年)

仏壇に供ふ亡夫に來し賀状 (平成五年)

行軍とふ遠足ありし乙女の日 (平成二十六年)

一人寝も三年となりぬ虎落笛もかりぶえ (平成六年)

弟の逝くしゃぼん玉消ゆるごとこと (平成二十六年)

いくばくは孫の血となれ刈葱煮かりぎ (平成六年)

ふるさとに帰る家なし墓参り (平成二十六年)

涙して孫訓しけり冬紅葉 (平成九年)

寒の紅さして米寿の衿持かな (平成二十七年)



●判型：A5判
●頁数：108頁
●定価：非売品

昭和二年生まれ。東彼杵郡波佐見町在住。「波佐見の句会」は途絶えているから始めて欲しい」と町教委からの要望で発足した「若葉会」。当初からの会員は、私一人になりましたが、次々に入会していただき以前にも増して若々しく、にぎやかで月一回の句会が生きがいになっております。その間、周りの方々におすすめていただきながら、「句集」などおこがましいと思いつけてまいりましたが、この度、句歴三十年と米寿の記念にやっと思い切りました。

句集名「生きる」は喜怒哀楽と共に思わぬ長寿を賜った感謝を込めました。日記代わりの日常茶飯事・家族・はらから・旅行などを主に九千句の中から選びました。ごく親しい方に読んでいただきたいとの思い立ちでしたので、型破りの句集になりました。ご容赦のほどお願い致します。

ののしり日和

今村 冬三

カラフルだったぼく

ぼくも人並みに産み落とされたその時から
カラフルではあった
みどり子 あか子 赤ん坊
お尻にしるき青い痣

紅顔の美少年時代は短く
小理屈捏ねる小生意気な
青二才はあつという間に染めあげられて
カーキ色

〈赤〉がきれいななくせに
赤い日の丸うち振り赤絨毯が大好きな国で
中学卒業しても
ぼくはやっぱり天皇の
赤子だった

青い山脈は茫とかすんで

姉の形見の

「パウル・クレー」 「さえずり機械」

どこに仕舞い忘れたんだろう
そう咳きながら何度探し回ったことが
無いでは済まないのだ 今日ば

「さえずり機械って言うのよ」
海軍中尉原謙吾に嫁ぐ前の晩
そう言っって姉が形見にくれた小さな機械

遊びから帰ってくるとよく見かけた
頬杖をつき 織い指でハンドルを回しながら
じつと聴き入っている姉の後ろ姿を

あのとき姉は何を思っていたのだろう
幸せな新婚生活？ いな、否！

姉は幸福を己れに断念させていたに違いない
「わたしは軍人の妻になるのだから」と

翌年 姉は若き母となり、若き未亡人となった
翌々年 どうも黒い戦争は終り、姉の戦が始まった

あれから今日までの長い時間、長すぎた時間
女ひとりの肩には重い夕暮れ、重すぎた夕暮れ

ようやく見つけたほのぼの色のケースには
すっかり時間の塵が積もっていた
機嫌が好いと針金の羽をはばたかせるとい
この可愛い機械
姉に返してやりたい返さねばならぬ

姉は明日

特別養護老人ホーム『おいらく荘』に入る

昨日今日

昨日

あなたの脳は波立っていますね
と無機質の医者に言われ
梅雨空を小脇に帰ってきた
妻は青空のエプロンで手を拭き拭き
「おかえりなさい」と言った

今日はいい天気だ

雲一つない

絶好のののしり日和だ

積もりに積もらせ

うらみつらみにむしゃやくしゃ

ついでにひふんこうがいも

布団のように膨らませるとするか

今村冬三 第四詩集「ののしり日和」

私は未練がましい男である。

自分では詩への執着はきっぱり捨てた
積りでいた。

しかし、ほつたらかしのしていた作品
が百篇ちかくあることに気付いたとき、
こんなにあるなら、何とかしてやらねば
なるまい、と思つよつになつていた。

今年、世に云う〈米寿〉。老化もいい
処のスーパー後期高齢者である。だから、
と詩集出版を正当化することにした。

まことに煩悩は熾盛、苦惱の旧里の
捨て難きこと、親鸞上人の申さるる
通り、とつづく思ひ知らされたこと
ある。

名付けて『ののしり日和』。決して上
等の詩集名と思つているわけではないが、
不平不満、悲憤慷慨のやり場なく、
しかし何とかキレまいとしてしている老人の
心理と生態は些か現わし得ているか、
と自分では思っているのである。



●判型：178×200mm
●頁数：108頁

フォト歳時記Ⅲ 五島の道・五島の四季

久保 進

時の流れとともに道も変わり、人も風景も行事も移り変わっていく。本書は、五島市になって10年目(当院の開院も10年目)のその時点での五島福江島を“道”を通して残しておきたいという思いで出版いたしました。



三井楽37.梅雨明けの日(高崎) 高崎の鮮やかな青い海と魚見やぐら。
H25.7.7



福江51.ちゃんこ3(下大津) 西日を受けて赤と白の衣装が映える。
H25.8.15



富江9.帰り船(山下漁港) まん丸の夕陽が落ちていく。
H26.3.10



玉之浦47.白鳥神社例祭3 船へ戻る神輿。みんな表情さわやか。
H25.9.23



岐宿11.遠足(魚津ヶ崎) “うらうらに 命輝く^{あした} 朝かな”
H25.4.8



三井楽7.ウミネコ(高崎) 一斉に飛び立つウミネコの群れ。壮観。
H25.1.26



福江45.奥の木場4 五島に移り住んで40年。自前の丸木橋を渡って畑へ。“夏の川 四十年の 畑道”
H26.7.21



フォト歳時記
五島福江島の人と自然
(平成24年) B5判 238頁



フォト歳時記II
脚で写す島の外の世界
(平成25年) B5判 216頁



フォト歳時記III
五島の道・五島の四季
(平成26年) B5判 294頁

● 昭和53年(1978) 生まれ
長崎県大村市黒木町
● 昭和53年(1978) 長崎大学医学部卒業
● 平成16年(2004) 五島市にて「久保循環器内科」開院。
● 平成22年(2010) フォトクラブ樗入会。

略歴くぼすすむ

大浦澄泉 遺墨展

日時 平成二十八年一月六日～十日
 長崎県美術館県民ギャラリー1C室
 主催 書道研究墨融会
 大浦澄泉先生遺墨展実行委員会

大浦澄泉先生がご逝去されて二年が経ちました。書家としての先生のご活躍は、日展や各種の中央展に役員として欠かさず出品されていましたが、県内で展覧されることは少なく、先生の還暦の年に、個展を開催されたのみです。ここで遺された二百点余の作品群の中から出品年代を遡る形で展覧会別に御覧いただき誠ありがとうございます。期間中は多数のご来場をいただき誠にありがとうございました。

松花舞春風

この作品は平成二十五年五月の県書展に顧問として展示されました。この年七月にはお別れしたのですが、ご体調が厳しい中で出品作品は用意されていたのです。春風に花弁が舞う桃源郷を想わせる書きぶりではありませんか。雅号はなく控えめに小さな雅印が一顆打たれているのみです。
 釈文 桃花舞春風

冷楓當年岸落高
 柳隔籬穿牙

平成二十年 青潮書道会展

嶺南時多邨深日霞
 鐘琴紅相葉仍魚柳葉凋

平成二十四年 読売書法展

王孫歸兮... 昭和三十九年 日展初入選

昭和三十九年 日展初入選

家世動止種句別松舟禽魚好在年封暗小筆花巧
 物染蒼新 葉長慈姑不因車馬時到重覺外園
 日華於在甚深公事引每來長侍法誨

平成十一年 日本書芸院展一科審査員役員展

坐物路無然年教青山水柏天獨有小船年書保
 書間塔深 松前在正斷空塔層 陽翠人家喚欲磨
 河上秋昏曉來急乃傳鐘被到不與

平成二年 日本書芸院展

多事多為多形... 昭和三十九年 日展初入選

昭和三十九年 日展初入選



大浦 澄泉 先生 略歴

- ・大正十年 長崎県平戸市大島村生れ
- ・昭和十七年 県立長崎青年師範を卒業後 小・中学校教諭。復員後は教員に復帰。校長の内命を辞退し退職して書の研究に専念。
- ・昭和四十五年 書道の主な経歴
- ・昭和三十九年 日展初入選 以後平成五年まで十回入選。
- ・平成六年 読売書法展読売新聞社賞受賞 など中央書展で入選・入賞多数。
- ・書道関係組織の貢献
- ・昭和四十二年 長崎市書作家協会を同志と結成 会長をへて名誉顧問。
- ・昭和四十三年 墨融会を結成、主宰 会長。
- ・昭和五十年 県書展立ち上げに尽力。
- ・昭和六十一年 全国組織の青潮書道会 副理事長をへて顧問。
- ・昭和五十九年～六十一年 県展実行委員長
- ・平成九年～十二年 長崎県美術協会会長
- ・平成十四年～十七年 長崎県現代作家美術展会長
- 表彰など
- ・昭和三十年 県知事感謝状
- ・平成元年 県民表彰
- ・平成三年 文部大臣表彰
- ・平成四年 長崎新聞文化章

大浦澄泉 遺墨展

- 判型：A4判
- 頁数：48頁
- 定価：非売品

アートギャラリー

好風のご案内

入場無料

展覧会で一緒にアートな時を楽しみませんか。
 ギャラリー「好風」はアートギャラリーとして、絵画、写真、美術工芸作品などの個展、グループ展の展示や発表の場としてご利用いただけます。
 芸術作品の展示だけでなく、催し物等のオープンスペースとしてのご利用もできます。

松本けんご展

2016年2月11日(木)〜15日(月)

10時30分〜19時まで

S50号「記憶の街」
 第63回(2014年)
 市民美術展「朝日新聞社賞」



アクリル画(キャンバス)、「黒板絵」の写真

〔松本けんご〕

〒851-2101
 長崎県西彼杵郡時津町西時津郷1000-60
 TEL 095(886)8093

長崎県内で中学校美術教師を36年間つとめてきました。今年3月で定年を迎えるにあたり、これまでを振り返り、展覧会を開催します。20歳代から60歳までの作品をいくつか並べております。チョーク絵も展示しております。稚拙な作品ばかりですが、ご覧いただけたら幸いです。

皆様のお越しを心よりお待ちしております。

第1回 武蔵野美術大学校友会 長崎支部展

2016年2月25日(木)〜29日(月)

10時30分〜18時まで



「春を待」 山崎和國



「竹籠椿図」 加野尚志



「廢城の石段」 古家満壽



「Roeperを吹く天使図」 阿野露団

3年前に、武蔵野美術大学卒業生の長崎在住者による校友会長崎支部を結成いたしました。

支部員の構成は、学部・短大・通信制などがあり、また専攻も美術科・デザイン科・建築科など多岐にわたっています。

このたび、第1回の支部展を開催する運びとなりました。如何なる展覧会になるか開いてみなければ分からない状態ですが、支部員相互の刺激となり個々の研修につながると思いい開催いたします。

皆様にご覧賜り、ご指導いただけます。幸いです。皆様のご来場をお待ちし、ご案内申し上げます。

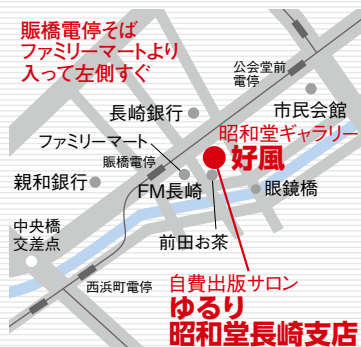
昭和堂ギャラリー
 Showado Gallery KOFU

好風

貸
 ギャラリー
 お申し込み
 受付中

TEL.095-821-1240
 FAX.095-823-8740
 〒850-0875 長崎県長崎市栄町6-23 昭和堂ビル2F
<http://www.showado.co.jp>

※駐車場がございませんので、付近の有料駐車場をご利用ください。



NEW 新刊紹介

昭和堂・ゆるりで
つくりました本の紹介

教育への我が思い 学問への道標

桑原 清弘
●判型:A5判
●頁数:352頁
●製本:上製本
●定価:非売品



島原三會村郷土誌 大正七年(復刻版)

西村 仁
●判型:A5判
●頁数:256頁
●製本:並製本
●定価:2,160円



美和の生い立ち

馬場 美和子
●判型:B6判
●頁数:124頁
●製本:上製本
●定価:非売品



遙かなる道

母、藤枝 来し方の記

富永 健司
●判型:A5判
●頁数:152頁
●製本:並製本
●定価:非売品



坂本一雄自伝 長崎鑄造株式会社

鎌田 裕子
●判型:A5判
●頁数:152頁
●製本:上製本
●定価:非売品



出版本



ここでご紹介する出版本は、サロンゆるり
までお気軽にお問い合わせください。

玉鈴 水墨画集

—墨色の千変万化に
魅せられて—
田村 玉鈴
●4、860円



キラキラ

人生を輝かせる。
たった5つの大切なこと
ごうまなみ
●1、620円



神様からの贈りもの

幸夏 涼
●1、296円



きくちゃんのうた

Vol.2
ひらた きくよ
●1、620円



きくちゃんの詩

ひらた きくよ
●1、296円



ゆうたくんごめんね

作/東フミ子
絵/関口拓志
●1、080円



じゅんくんあそぼ

作/東フミ子
絵/関口拓志
●1、296円



ソシテ・イマデモ

城 加奈子
青木 純子
●1、234円



イツモノ・イツカ

白石加奈子・
江崎 純子
●1、234円



365 + o mica

mica
●864円



俳句のすすめ

築城百々平
●1、234円



松林重宗水彩画集

松林 重宗
●3、240円



長崎を描いてさるく

松林 重宗
●2、160円



たぬきの おくのほそ道

堤 けんじ
●3、086円



西陲騎葩 (せいすいきは)

邑上 益朗
●2、800円



Assendelft (アッセンデルフト)

金丸 洋子
●3、240円



命のすじみち すすむ道

緒方 源信
●720円



共存の心やわらぐ 長崎の街

緒方 源信
●720円



生きる心の綾錦

緒方 源信
●823円



日本人の心は おもしろか

緒方 源信
●823円



身体にたのもう!

植田 成文
●1、944円



長崎県史のスミレ

植田 成文
●1、296円



平成27年版 諏訪神事
長崎くんち 取材記録
土肥原弘久 ●1,080円



諏訪神事 長崎くんち
取材記録
土肥原弘久 ●2,160円



昭和20年8月
長崎市地図
出口 輝夫 ●540円



長崎半島・
汚池姫伝説の謎
境 俊幸 ●1,028円



ながさきの子ども等
学校生活編/地域の暮らし編/
自然社会平和への願い編
永山 綱枝 ●各1,234円



長崎いさな物語
浦上 修 ●1,296円



五島雑学事典
永治 克行 ●2,057円



塩飽史
江戸時代の公儀船方
吉田 幸男 ●2,700円



決先生の
外国史講義
宇田川 決 ●2,160円



訓薫諫甘
宮城 ま咲 ●1,296円



おくさん
松田 純子 ●540円



夜のカナリアたち
森 ぶんめい ●823円



気づいた時が
出発点
一ノ瀬恵介久嗣裕士 ●514円



未知への道
中村 士規 ●1,028円



老いの細道メモリー
中村 士規 ●1,028円



誰も知らない
お経の真理(I)
大嶽 巖 ●1,543円



英文法徹底詳述集
1冠詞編
一宅 仁 ●3,024円



ディアコニー
Eパイライター著
山城 順訳 ●2,700円



もう二人の少年使節
ドラード
青山 敦夫 ●1,200円



ふるさとの昔
島原今昔
宮崎昌次郎 ●1,620円



JOFFA式
フラワーアレンジ
日本オリジナルフラワー協会 ●1,296円



たゆたう(二)～(十)

松本 風作 ●各1,028円



(二)



(三)



(四)



(五)



(六)



(七)



(八)



(九)



(十)



NBC
ラジオ

モーニング
サプリ

『昭和堂
笑顔のレシピ』
毎週金曜
あさ10:35より

放送中
きいてネ!!

あなたの本や
作品をラジオで
ご紹介!!
同人サークル活動も
ご紹介します!!

情報コンビニ

午後
JOC

『スローライフ
人生輝きのオススメ』
ゆるりのお客さまサークル紹介
毎月第3木曜日
ひる2:00より



被爆・終戦70年の回顧

けいりん 瓊林会有志による記録



長崎は歴史の街です。近世より、南蛮貿易、キリシタン布教と弾圧。鎖国の中、出島・新地での国際交易地。幕末から明治時代、日本の近代化を牽引した産業革命遺産群。現代史上、長崎を壊滅に追いやった原子爆弾被災の歴史があります。

昨年是被爆・終戦70年の節目の年で、マスコミや出版社など多くのメディアが、いつか来た道への警鐘をも込めて戦争体験から何を学ぶかをクローズアップされていました。このたび、瓊林会有志による「被爆・終戦70年の回顧」が12月に発刊されましたのでご紹介いたします。

まず「瓊林会」とは、わかりやすく申し上げますと「長崎大学経済学部」の同窓会なのですが、古くは「長崎高等商業学校」であり、終戦前後は長崎経済専門学校と呼ばれていました。（現在の会員は一万六千名以上もいらっしゃいます）。被爆時は校舎被災、教官一名、生徒二十六名死亡。戦後50年の平成7年に、被爆体験集「原子雲の青春」が刊行されています。

今回の本編の構成は、瓊林会有志二十八名の方々による戦時体験の寄稿文です。内容的には、被爆体験、終戦から戦後生活の回想、外地生活・職場体験等多岐に渡りました。被爆についてはその悲惨な臨場感が多く報告されており、青年期にあった経専先輩達は被爆同胞・友人達の救助に腐心されたようです。また生々しく伝わって来るのは、死した児を抱く母、死した妻に添い寝する夫、愛する家族、また親しき友人を、泣

く泣く自分の手で火葬にふす痛ましき、人間の赤裸々な姿が記録されています。また更には、黒い雨、昼日中でも直視できた真赤な太陽、夜間原子野から立ち昇る幾百の人の魂、その他日常を超越した長崎の地上の姿が描出されています。本誌がこれからの平和な世にいくばくとも資することができますことを念願するものがあります。

なお上梓本は、瓊林会、母校図書館、県・市図書館、原爆関係諸団体・資料館等々でご覧いただけるようにいたします。



被爆後の長崎 浦上周辺 (長崎原爆資料館 写真提供)

寄稿者 28名

- (経専39) 川崎 進
- (経専41) 高木 昌章
- (経専42) 多々納弘光
- (経専42) 長澤 諄
- (経専44) 吉田 平八
- (学部1) 瀬戸口孝次
- (学部1) 山口 等
- (学部2) 松田 慧三
- (学部2) 松尾 英三
- (学部2) 山田 拓民
- (学部4) 鈴木 一郎
- (学部4) 田川 博康
- (学部4) 都野 尚典
- (学部4) 山下 繁
- (学部4) 山田 一美
- (学部5) 荒木 克治
- (学部5) 磯田 滋
- (学部5) 大平 靖夫
- (学部5) 田坂 八束
- (学部5) 田坂 弘子
- (田坂八束氏夫人)
- (学部5) 福盛 静夫
- (学部5) 三好 卓雄
- (学部5) 村山 徹
- (学部5) 餅田 健
- (学部5) 山田 道弘
- (学部5) 湯藤 康子
- (学部5) 若杉 英之
- (学部18) 桑原 芋吉

もの忘れ外来のご案内

もの忘れ外来では、認知症に関する相談をお受けし、専門的な検査、診断、治療などを行います。

「最近忘れっぽくなった」、
「繰り返し同じ事を尋ねるようになった」
などご心配なことがございましたら
お気軽にご相談ください。

完全
予約制

診察ご希望の際は、
必ずご予約下さい

新患診察日／担当医師 午後2時より、診察いたします。

火曜日・木曜日・金曜日
竹村 北村 芹田

予約／問い合わせ窓口:道ノ尾病院 地域連携室
電話:095-856-1111(代)
(問い合わせ時間:月～金 9:00～17:00)

医療法人 厚生会
道ノ尾病院

MICHINOO HOSPITAL

〒852-8055長崎市虹が丘町1番1号
URL:<http://www.michinoo.or.jp>



あなたの想いを本にしませんか



『ゆるり』とは、囲炉裏の意味。囲炉裏を
囲むように、皆さんで集っていただける
空間に・・・との願いが込められています。
和の雰囲気を感ぜられる空間で、
ゆっくりゆるりと、本づくり談義に花を
咲かせてみてはいかがでしょうか。



賑橋電停そば
ファミリーマートより
入って左側すぐ



自費出版サロン

ゆるり

TEL.095-828-1790

FAX.095-823-8740

<http://www.showado.co.jp>

〒850-0875

長崎市栄町6-23 昭和堂ビル2F

感謝

上川原先生
歌集の本を
多数寄贈



日本歌人クラブ顧問である社代表
の上川原紀人先生より、御収集されて
ます図書の中から歌集 250冊をゆるり
へご寄贈いただきました。皆様もぜひ
ご覧にお越しくださいませ。



Life Portrait

ライフポートレート【肖像写真】

「たった一度の人生…たくさんの人と出会い、今の自分がある」
 とってもいいお顔です。

ご自分らしい今の姿を、より素敵に残しませんか。
 ご来店心よりお待ちしております。

ご予約は **iKEDA 時津本店**

☎ 0120-01-8936



たくさん撮ってお好きな
 カットをお選びいただく
 システムです。

四切写真1枚(台紙付)
 (21.3cm×28.3cm) + データCD



15,000円 (税込)

※土日祝 5,400円up ※焼増 6,200円

※アルバムや額装など、さまざまな商品をご用意しております。お気軽にご相談ください。

大切な節目のお写真をお着物で! ご夫婦でもおひとりでも、お気軽にどうぞ!

「還暦・古希祝い」「金婚式」「銀婚式」

撮影料 + 和装衣裳(羽織袴・訪問着) + 着付け + 台紙付写真1枚付

すべて含んで **15,000円** (税込)

※土日祝 5,400円up
 ※焼増 6,200円



たくさん撮って好きな
 カットをお選びい
 いただくシステムです。

写真のいけだは、ブライダル・成人振袖・お宮参り・七五三など…高級ブランド衣裳が0円で着られます!



チャペル、衣裳、美容、コドモスタジオ、写真がすべて揃う!
九州最大級! 660m²の大規模写真館
 感動と喜びがあふれるエンターテインメントスタジオです。

iKEDA 時津本店 ☎ **0120-01-8936**

時津町浦郷301-9(18銀行時津支店後ろ) TEL 095-882-8936 営業時間 9:30~18:30

